

## 下野健児 教授

研究業績

2024年4月15日更新

| 著書・論文等の区分 | 著書・論文等の名称、発行所・発表雑誌・学会等の名称、共著の場合の編者・著者名、該当頁数   | 発行・発表年月              |
|-----------|---|----------------------|
| 著書(共)     | 「書：漢字とかなー中国の影響とその展開ー」『日本美術史』山岡泰造監修、並木誠士、森理恵編、昭和堂、62～71頁   | 1998. 5              |
| 著書(共)     | 「三国・三国南北朝の書」『世界美術全集 東洋編3 三国・南北朝』、曾布川寛、岡田健編、小学館、(石松日奈子、稲本泰生、小笠原小枝、岡田健、河野道房、曾布川寛、田中淡、中野徹、西岡康宏、西村俊範、野村恵子、藤岡穰、古田真一、松本伸之、八木春生、劉永増、スタンレイ・アベ)、125～148頁 | 2000. 11             |
| 著書(共)     | 「明」『中国書法史を学ぶ人のために』第六章、杉村邦彦編、世界思想社、173～200頁  | 2002. 9              |
| 著書(共)     | 「書の本流ー王羲之・孫過庭・米芾」「行書・草書 個性の展開ー蘇軾・黄庭堅・祝允明」『中国美術の見かた』、(古田真一・山名伸生・木島史雄編)、昭和堂、48～55頁、62～71頁   | 2003. 10             |
| 論文(単)     | 「江戸唐様の様相」書道研究雑誌『新書鑑』(1989. 11月号～1990. 3月号)  | 1989. 11～<br>1990. 3 |
| 論文(単)     | 「祝允明の狂草書法について」『京都大学文学部美学美術史学研究室研究紀要』第13号、29～52頁   | 1992. 3              |
| 論文(単)     | 「明代における狂草の流行とその様相」書学書道史学会誌『書学書道史研究』3、87～101頁  | 1993. 6              |
| 論文(単)     | 「中国所在の明代中期狂草書法の調査研究」『鹿島美術財団研究報告年報』第10号別冊、74～79頁   | 1993. 11             |
| 論文(単)     | 「懷素自叙帖墨蹟本私考」『京都大学文学部美学美術史学研究室研究紀要』第15号、69～100頁  | 1994. 3              |
| 論文(単)     | 「祝允明の小楷書法について」『書学書道史研究』5、書学書道史学会、25～38頁   | 1995. 6              |
| 論文(単)     | 「書作における書家の発想の問題に関する一考察ー張旭の狂草書法の場合＝その発想のもととなったものー」平成六～七年度科研費〔総合研究(A)〕研究成果報告書『想像力ーその評価を巡る比較美学的考察ー』(代表者 岩城見一)、189～200頁                             | 1996. 3              |
| 論文(単)     | 「書のための書ー唐から宋へ＝ルネサンスからバロックへー」『月刊しにか』1996年第7巻第10号、大修館書店、40～45頁  | 1996. 10             |

|       |   |         |
|-------|---|---------|
| 論文(単) | 「与謝蕪村の書法—その俳諧の書についての一考察—」『花園大学国文学論究』第24号、花園大学国文学会、1～22頁                         | 1996.12 |
| 論文(単) | 「蕪村の書について」『蕪村 その二つの旅』展図録 佐々木丞平・佐々木正子編、朝日新聞社 26～29頁                              | 2001.2  |
| 論文(単) | 「書のかたち」『花園大学日本文学論究』第2号、15頁  | 2009.12 |
| 論文(単) | 「書における「手本を写す」ことの意味 —臨書と摹書の構造について」『美術フォーラム21』Vol.31 一般社団法人美術フォーラム21 醍醐書房 63～68頁  | 2015.5  |
| 論文(単) | 「書のかたち」をめぐって —型の生成と伝承」『書学書道史研究』25 書学書道史学会 145～151頁                              | 2015.10 |
| 論文(単) | 「コンピュータ時代における「書く」ことの意味」『中国21』第47号 愛知大学現代中国学会 61～79頁                             | 2018.1  |
| 論文(単) | 「中国書法から見た「秋萩帖」草仮名書法について」今野真二編『秋萩帖の総合的研究』 勉誠出版 207～235頁                          | 2018.10 |
| 論文(単) | 「刻書と墨書 —何故我々は拓本を臨書できるのか？」 『美術フォーラム21』Vol.39 一般社団法人美術フォーラム21 醍醐書房 89～95頁         | 2019.6  |
| 論文(単) | 「書のみかた—〈かたち〉の中に何を見るのか？」花園大学文学部研究紀要 第53号 53～66頁                                  | 2021.3  |
| 論文(単) | 「褚遂良「雁塔聖教序」の書風(刻風)について—「書くための楷書」— 曾布川寛・宇佐美文理編『中国美術史の眺望—中国美術研究会論集—』 汲古書院 59～78頁  | 2023.11 |
| 翻訳(単) | 何傳馨・城野誠治『懷素自叙帖卷検報告』何傳馨氏選稿部分(原文中国語部分) 国立故宮博物院(台湾)・東京文化財研究所                       | 2005.10 |
| 翻訳(単) | 傅申「従〈流日半卷本〉論《自叙帖》非懷素親筆」(『東アジアにおける〈書の美学〉の伝統と変容』、神林恒道・萱のり子・角田勝久編、三元社、64～79頁(奇数頁)。 | 2016.4  |
| 翻訳(単) | 邱振中「書法作品中的運動与空間」(『東アジアにおける〈書の美学〉の伝統と変容』、神林恒道・萱のり子・角田勝久編、三元社、98～111頁(奇数頁)。       | 2016.4  |
| 翻訳(単) | 何傳馨「唐代書学經典—孫過庭『書譜』の内容とその思想脈絡」『美術フォーラム21』Vol.39 醍醐書房 23～29頁                      | 2019.6  |
| 書評(単) | 萱のり子著『書芸術の地平—その歴史と解釈—』、『書論』第33号、書論研究会、175～177頁                                  | 2003.11 |
| 書評(単) | 高橋利郎著『近代日本における書への眼差し—日本書道史形成の   | 2012.11 |

|         |   |          |
|---------|---|----------|
|         | 軌跡』 「美術史フォーラム 21」 2012 Vol. 26 醍醐書房   |          |
| その他 (単) | 大野修作「近代の概念としての古隸」本文注 『書の宇宙』 4、石川九楊編、二玄社、88~92. 95 頁   | 1997. 3  |
| その他 (単) | 大野修作「典型化した隸書 - 八分」本文注 『書の宇宙』 5、石川九楊編、二玄社、88. 89. 92. 93 頁   | 1997. 4  |
| その他 (単) | 大野修作「中世的品第法における王羲之書」本文注 『書の宇宙』 6、石川九楊編、二玄社、88~94 頁  | 1997. 5  |
| その他 (単) | 大野修作「北朝石刻」本文注 『書の宇宙』 7、石川九楊編、88. 90~92 頁  | 1997. 7  |
| その他 (単) | 大野修作「初唐期楷書のバックボーン」本文注 『書の宇宙』 8、石川九楊編、二玄社、86~89. 93. 95 頁  | 1997. 8  |
| その他 (単) | 大野修作「狂草 - 古文復興運動の一側面」本文注 『書の宇宙』 9、石川九楊編、二玄社、88~95 頁   | 1997. 9  |
| その他 (単) | 大野修作「陽剛と人間性の美」本文注 『書の宇宙』 13、石川九楊編、二玄社、88~91. 93~95 頁  | 1998. 4  |
| その他 (単) | 大野修作「宋三家「尚意」論」本文注 『書の宇宙』 14、石川九楊編、二玄社、86. 88. 90. 91. 94. 95 頁  | 1998. 6  |
| その他 (単) | 大野修作「元の復古とその源流」本文注 『書の宇宙』 15、石川九楊編、二玄社、86~91. 95 頁  | 1998. 8  |
| その他 (単) | 大野修作「サロンからマーケットへ」本文注 『書の宇宙』 17、石川九楊編、二玄社、88~95 頁  | 1998. 12 |
| その他 (単) | 大野修作「明末清初の浪漫派書人群像」本文注 『書の宇宙』 18、石川九楊編、二玄社、86. 87. 頁   | 1999. 3  |
| その他 (共) | 大野修作「内圧と外圧」本文注 『書の宇宙』 21、石川九楊編、二玄社、72. 74. 75. 76. 79 頁   | 2000. 4  |
| その他 (単) | 大野修作「再生と検証」本文注 『書の宇宙』 22、石川九楊編、二玄社、78. 80. 85 頁   | 2000. 8  |
| その他 (単) | 大野修作「印章から篆刻へ」本文注 『書の宇宙』 23、石川九楊編、二玄社、90. 91. 93. 94 頁   | 2000. 10 |
| その他 (単) | 「蕪村の書について」、作品解説 (70. 71. 74. 75. 76. 77. 78. 79. 80. 82. 83. 85. 86. 87. 88) 『蕪村その二つの旅』展図録、佐々木丞平、佐々木正子編、朝日新聞社 (佐々木丞平、佐々木正子)、26~29 頁 | 2001. 2  |
| その他 (単) | 「俳諧の書ー蕪村のめざした調和体書」 『書に遊ぶ』 6号 (5月号)、有限会社クリエイティブアートとまと、94~96 頁  | 2001. 5  |
| その他 (単) | 『日本・中国・朝鮮書道史年表事典』 項目執筆 9 項目   | 2005. 10 |
| その他 (単) | 「鑑賞と臨書ー〈見つけること〉としての臨書の面白さー」「シ   | 2007. 2  |

|         |  |          |
|---------|--|----------|
|         | ンポジウム記録」『シンポジウム記録集 鑑賞とその評価—指導者として何をなすべきか、芸術科教員養成大学の現場から—』、第31回全日本高等学校書道教育研究会大阪大会     |          |
| その他（単）  | 「書のかたち」 奈良県高等学校書道教育研究会平成24年度(2012)研究紀要 36～54頁  | 2012. 3  |
| その他（単）  | 「「書く」ということ」 自動車技術会 関東支部報『高翔』No. 65 20～23頁  | 2016. 1  |
| その他（単）  | 共同討議「コンピュータ時代における書の可能性」(下野発言分)、(『東アジアにおける〈書の美学〉の伝統と変容』、神林恒道・萱のり子・角田勝久編、三元社、437～465頁。 | 2016. 4  |
| その他（単）  | 「《巻頭言》特集 書の領分—今、書をどうみるか」 『美術フォーラム21』Vol. 39 一般社団法人美術フォーラム21 醍醐書房 20～22頁              | 2019. 6  |
| 口頭発表（単） | 「池大雅の書について」、日米日本美術史大学院生会議（第3回）   | 1991. 5  |
| 口頭発表（単） | 「祝允明の狂草書法について」、美術史学会全国大会   | 1992. 11 |
| 口頭発表（単） | 「明代における狂草の流行とその様相」、書学書道史学会全国大会（於京大会館）  | 1992. 11 |
| 口頭発表（単） | 「祝允明の小楷書法について」、書学書道史学会全国大会（於 三重澄懷堂美術館）   | 1994. 11 |
| 口頭発表（単） | 「与謝蕪村の書法について」、花園大学国文学会大会   | 1996. 7  |
| 口頭発表（単） | 「唐代における書法の改変と形式化—智永『真草千字文』をめぐって—」、第13回書学書道史学会全国大会、（京都教育大学）                           | 2002. 11 |
| 口頭発表（単） | 「書教育における〈見ること〉の重要性」、花園大学国文学会   | 2005. 7  |
| 口頭発表（単） | 「鑑賞とその評価—指導者として何をなすべきか」、第31回全日本高等学校書道教育研究会大阪大会                                       | 2006. 11 |
| 口頭発表    | 「書学書道史の教育の現状と将来」、第18回書学書道史学会大会シンポジウム、筑波大学  | 2007. 11 |
| 口頭発表    | 「「書のかたち」をめぐって」第25回書学書道史学会大会シンポジウム、花園大学   | 2014. 9  |
| 口頭発表    | 「書のかたち」国際シンポジウム東アジアにおける《書の美学》の伝統と受容」新潟市、りゅーとぴあ能楽堂                                    | 2015. 9  |
| 招待講演    | 「臨摹與創新——從王鐸書法談明末清初獨特的書法現象」鴻禧美術館（台湾、石頭書屋所藏明清書画展）                                      | 2001. 7  |
| 招待講演    | 蘇州書法散歩 澄懷堂美術館（三重県）   | 2001. 12 |
| 招待講演    | 「書のかたち—碑学派と帖学派の書法—」黒川古文化研究所  | 2011. 5  |
| 招待講演    | 「書のかたち」奈良教育委員会主催研究会  | 2012. 11 |

|      |  |          |
|------|--|----------|
| 招待講演 | 「雁塔聖教序のなぞ？ 二つの楷書法—墨書と石刻」（兵庫県高等学校教育研究会書道部、兵庫県中央労働センター                                 | 2016. 8  |
| 講演   | 「書のみかた—「書く」ことによって生まれる「かたち」（視覚文化連続講座シリーズ3 視覚文化に分け入る 第7回 公益財団法人きょうと視覚文化振興財団・京都新聞 平安女学院 | 2023. 3  |
| 講演   | 「文字を「書く」ことの意味」第40回京都府高等学校総合文化祭（於みやこめッセ）  | 2023. 10 |

---